

「アイラカンファレンス 2009～体験！新世代ネットワーク環境～」

実施報告書

1. 活動趣旨

平成 21 年 8 月 9 日（日）から 11 日（火）、日ごろの教育成果発表の場として、また、そこから派生した教育活動の成果を広く社会還元するための場として札幌コンベンションセンター（北海道札幌市）において「アイラカンファレンス 2009～新世代！ネットワーク環境～」を開催した。

プログラムは、8 月 9 日午後 1 時より始まり、「IT 技術者教育支援分科会、Flex アカデミー分科会、Ipv6 分科会」によるハンズオン講習会をのべ 13 クラス開講した。並行して午後 1 時より「教育の情報化分科会」による「新学習指導要領と情報倫理教育とパネルディスカッション」を開講した。4 人の講師が情報教育の今後の展望や課題を提言した後、参加者と議論を深めた。参加者アンケートでは、来年も同様のテーマを扱って欲しいという意見が多く、現場のニーズを強く感じとることができた。

翌 10 日は、午前 9 時から ILA 各分科会より第 9 期の活動報告があった。午前 9 時半からに開催された全体会・講演会では、今回のカンファレンスのテーマである「新世代！ネットワーク環境」を統一のテーマとして、主に学術ネットワーク運用の面から北海道大学情報基盤センター、次世代プロトコルである IPv6 の面から株式会社 IIJ の方にそれぞれご講演をいただいた。13 時半よりネットワークーズ報告会、Network Skills Competition 2009 in 帝塚山の報告会があった。14 時よりシスコシステムズ合同会社によるシスコネットワーキングアカデミーの展望が伝えられた。

15 時半よりグループディスカッションを 17 時半まで実施した。現場を担う教員ならではの活発な議論の中、コミュニケーションを図る良い機会となった。

最終日の 11 日は、カンファレンス期間中の開催が 2 回目となる総会を実施し、多くの非会員の方にも ILA の活動報告・監査報告・次年度の活動計画を伝え、ILA の活動を広く周知できた。10 時より前日行われたグループディスカッションの代表者がグループごとの意見を報告した。13 時より「IT 技術者教育支援分科会」から「ネットワーク技術者試験の最新動向」についての講演を最後に、3 日間で、のべ 383 名もの方々にご参加いただき、実行委員長による閉会宣言をもってカンファレンスを閉会した。



2. 開催概要

開催時期	平成 21 年 8 月 9 日（日）～11 日（火）
開催場所	札幌コンベンションセンター（北海道札幌市白石区東札幌 6 条 1 丁目 1-1）
後援	文部科学省、経済産業省、総務省、大阪府教育委員会、(財)コンピュータ教育開発センター(CEC)、(社)日本教育工学振興会(JAPET)、全国専門学校情報教育協会
参加者数	全国の教育関係者・教員志望者（延べ数 383 名）

3. 開催プログラム

日	時間	内容					Flex 分科会	IPv6 分科会	教育の情報化分科会
8月9日	13:00	『IT 技術者教育支援』 Netacad ハンズオンセッション							講演会とパネルディスカッション 「初等中等教育における情報教育と新学習指導要領」
		IP テレフォニー (101 会議室)	IOS セキュリティ (103 会議室)	ワイヤレス LAN (106 会議室)	仮想化と Discovery Server (107 会議室)	Packet Tracer5.2 (107 会議室)	RIA ハンズオン セッション (102 会議室)	IPv6 ハンズオン セッション (特別会議場)	

8月10日 【特別会議場】	9:00	ILA 報告会						特別支援教育における 情報教育・実技 研修会 情報教育実践 発表と、Adobe Flash やプレゼン テーションソフト ウェアを活用した 教材開発実技 研修 (107 会議室)
	9:30	基調 講演	北海道大学 情報基盤センター副センター長 高井 昌彰 氏 演 題 「情報基盤の未来像～北海道の学術ネットワーク運営を通して～」					
	11:00		株式会社インターネットイニシアティブ 技術研究所 主幹研究員 山本 和彦 氏 技術推進課 シニアエンジニア 松崎 吉伸 氏 演 題 「夢破れて、なお IPv6」					
	12:00	企業プレゼンテーション						
	13:30	ネットワークカーズ報告会 大阪工業大学 工学部 准教授 藤村 真生 氏						
	13:45	Network Skills Competition 2009 in 帝塚山 帝塚山大学 経営情報学部 教授 日置 慎治 氏						
	14:10	ネットワーク企業講演 シスコシステムズ合同会社 長部 謙司 氏						
15:30	グループディスカッション							

8月11日	9:00	NPO 法人インターネット・ラーニングアカデミー 総会					
	10:00	グループディスカッション報告会 (特別会議場)					
	13:00	ネットワーク技術者向け試験の最新動向について (特別会議場)					

3. 内容

(1) 教育の情報化分科会「新学習指導要領と情報倫理教育とパネルディスカッション」

講演 1 「韓国の初等中等情報教育のための新教育課程と中学校用教科書」

講師：李 元揆（高麗大学）

講演 2 「高校情報科 2つの新科目をめぐって-骨太の情報科「社会と情報の科学」-」

講師：奥村稔（北海道札幌北高等学校）

講演 3 「情報メディアの匿名性と個人性-子どもの情報メディア使用の是非を問う-」

講師：村田育也（北海道教育大学旭川校）

¥¥

講演 4 「ケータイ(メール)による生徒指導の事例」

講師：柴田健一（北海道小樽工業高等学校）

パネルディスカッション

司会：中野由章（千里金蘭大学 現代社会学部）

パネリスト：李 元揆，奥村稔，村田育也，柴田健一



(2) IT 技術者教育支援分科会「Netacad テクニカルセッション」

内容： やや高度な ICT のフォローアップトレーニング

IOS セキュリティ	北原 聡 氏 (麻生情報ビジネス専門学校)
IP テレフォニー	藤村 真生 氏 (大阪工業大学工学部)
Packet Tracer v5.2	齋藤 貴幸 氏 (日本工学院八王子専門学校)
ワイヤレス LAN	前野 譲二 氏 (早稲田大学メディアネットワークセンタ)
仮想化と Discovery Server	越智 徹 氏 (広島国際大学工学部)

(3) FLEX アカデミー分科会「RIA ハンズオンセッション」

内容： Flex フォローアップトレーニング

講師： IT 塾/Web システム開発株式会社代表 宮田 亮 氏



(4) Ipv6 分科会

1 使ってみよう IPv6

内容： 様々なネットワーク環境で IPv6 を用いて接続することを学習する。

講師： ILA Ipv6 分科会主査 鈴田 伊知郎 氏



2 作ってみよう IPv6

内容： アラクサラ、シスコ、ヤマハなど各社のルーターを使って、実際に IPv6 ネットワーク環境の構築を学習します。

講師： ILA IPv6 分科会主査 鈴田 伊知郎 氏



(5) 基調講演

講演 1

内容： 情報基盤の未来像-北海道の学術ネットワーク運営を通して-

講師： 高井 昌彰 氏 (北海道大学 情報基盤センター副センター長)

講演 2

内容： 夢破れて、なお IPv6

講師： 山本 和彦 氏 (株式会社インターネットイニシアティブ技術研究所主幹研究員)

松崎 吉伸 氏 (株式会社インターネットイニシアティブ技術推進課シニアエンジニア)

(6) ネットワーカーズ報告会

内容：ネットワーカーズの参加報告

講師：藤村 真生 氏（大阪工業大学工学部准教授）



(7) Network Skills Competition 2009 in 帝塚山

内容：帝塚山で開催された Network Skills Competition の報告会

講師：日置 慎治 氏（帝塚山大学経済情報学部教授）



(8) ネットワーク企業講演

講演者：シスコシステムズ合同会社 長部 謙司 氏



(9) グループディスカッション～ディスカッションのテーマ

- ・ 本日（8月9日）のCiscoの講演内容について
- ・ 進路との関連について
- ・ Discoveryの実施方法について
- ・ 特に、冗長なD1、D2への対応と日本語化未了のD3、D4の実施方法について
- ・ パケットトレーサを授業でどのように用いているか。実情について意見交換したい
- ・ 各校の新カリキュラムに対する対応状況について
- ・ 魅力的NAとは？
- ・ 新旧カリキュラムをどうスムーズに移行するのか？
- ・ 資料の日本語化
- ・ 受講生同士の交流会のようなものの実現可能性について

